## 

様々な可能性を皆さんと検討しましょう

## オープンハウスを開催しています

将来に向けた沖縄の新しい交通のあり方を描くため「次世代交通ビジョンおきなわ(仮称)」の検討について、県民の皆さんのご意見を幅広くお聞きする場として、「オープンハウス(パネル展示を中心とした情報提供)」を令和7年11月より県内各圏域で開催しています。



オープンハウスの参加予約は不要です。どなたでもご自由に参加できます。

次世代 交通ビジョン おきなわ

## 次世代交通ビジョン おきなわ(仮称)とは・・・

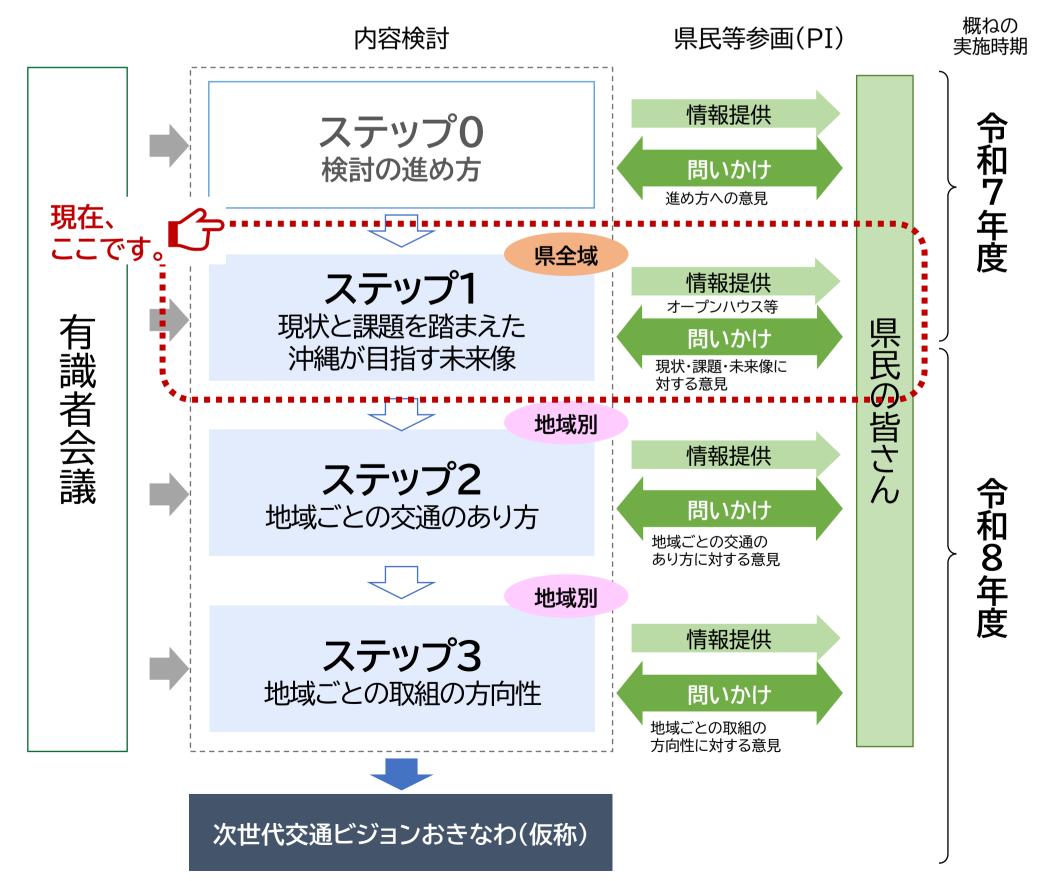
県内の交通渋滞や公共交通の不便さといった課題を解決し、県民の誰もが快適に移動でき、日々の生活を安心して過ごすことのできる沖縄を目指すため、県では、将来に向けた沖縄の新しい交通のあり方を示すビジョン、「次世代交通ビジョンおきなわ(仮称)」を策定することとしました。

具体的には、自家用車への過度な依存の脱却、県民生活の質の向上、地域経済の活性化、カーボンニュートラル、世界から選ばれる持続可能な観光地の実現など、沖縄県の戦後100年にあたる2045年を見据えた新しい交通のあり方、将来像を描く構想の策定を目指します。

## 本ビジョンの検討の進め方とポイント

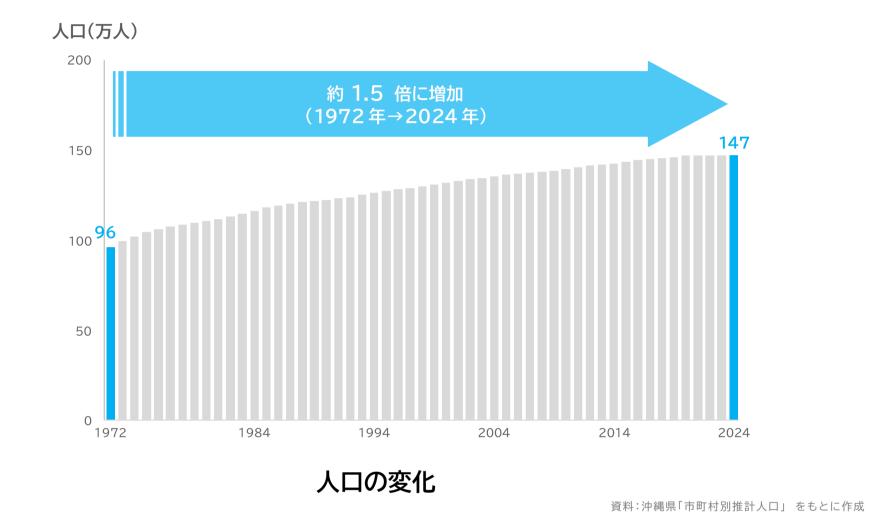
本ビジョンの策定にあたっては、おきなわSDGsや沖縄21世紀ビジョンと同様のバックキャスティングの手法を取り入れて進めます。

関連する政策分野との整合性を確認しながら、県民の皆さんとの対話やコミュニケーションを通じて、意見を反映しながら進める参加型の手法(PI手法)を活用して、段階的に論点整理を進めてまいります。



## 成長する沖縄県

#### ■ 沖縄県は、1972年に本土へ復帰して以降、人口が伸び続けています

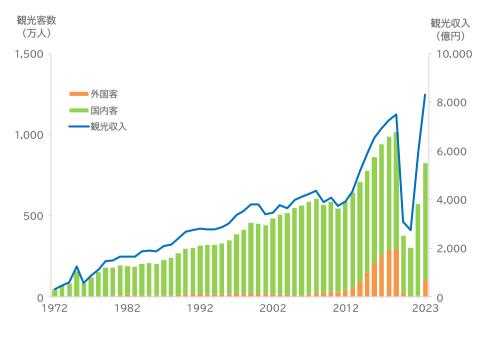


#### ■ 県内総生産は、本土復帰後50年で 約10倍に増加しました

#### 県内総生産(兆円) 5.0 約10倍に増加 (1972年→2022年) 3.0 2.0 1.0 0.0 1972 2022

県内総生産(名目)変化 資料:沖縄県「県民経済計算」 をもとに作成

#### ■ 観光客数は増加傾向にあり、2018 年には1000万人を突破しました

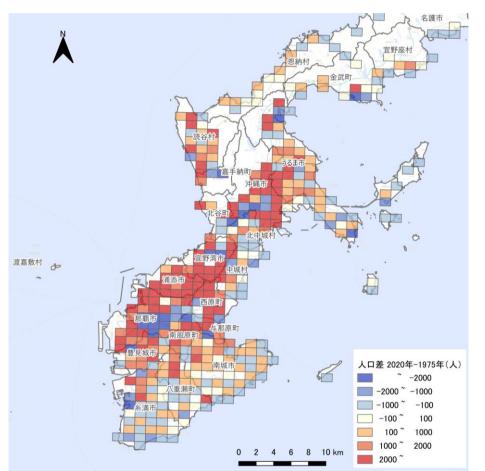


観光客数・観光収入の変化

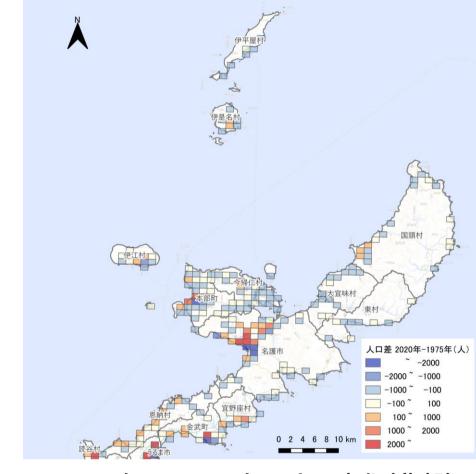
資料:沖縄県「令和5年版観光要覧」 をもとに作成

## 市街地の拡大と集中

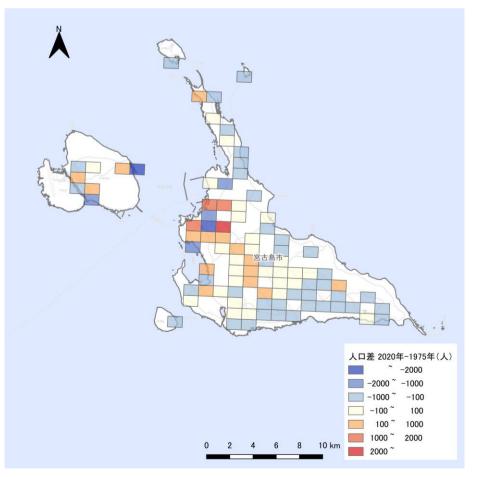
- 中南部では、市街地の拡大と共に、郊外で人口が増加してきました
- 一方、北部や島しょ部では、中心部に人口が集中する傾向にあります



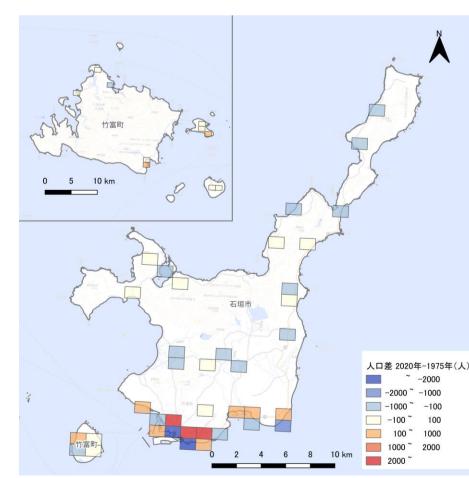
1975年~2020年の人口変化(中南部)



1975年~2020年の人口変化(北部)



1975年~2020年の人口変化(宮古)



1975年~2020年の人口変化(八重山)

資料:国勢調査 をもとに作成

## 交通の発達

#### ■ 本土復帰後、様々な交通整備が行われました

1972 19	975	1978	1987	2000	2003	2008	2014	2019	
本土復帰軍道と政府道が国道・市町村道へ	海洋博覧会沖縄自動車道(許田~石川間)開通	7月30日交通方式変更事業(730)	沖縄自動車道全線(那覇~石川間)開通	沖縄サミット 那覇空港自動車道(南風原南~西原JCT間)開通	那覇空港自動車道(豊見城~南風原南間)開通沖縄都市モノレール開通	那覇空港自動車道(豊見城~豊見城·名嘉地間)開通	国道58号バスレーン延長	基幹急行バス運行開始沖縄都市モノレール延伸(てだこ浦西)	

資料: 内閣府沖縄総合事務局北部国道事務所「やんぱる国道物語」、 https://www.dc.ogb.go.jp/hokkoku/yan.koku/11nenpyou/index.htm ゆいレール「沿革」、 https://www.yui-rail.co.jp/company/history/ わった~パス党「パスの10年@沖縄~進化と深化」、 https://www.watta-bus.com/currenttry/

#### ■ 自動車保有台数は、本土復帰後の約6倍に増加しています



資料:沖縄県「沖縄県の道路2024」 をもとに作成

## 公共交通の取組

■ バスの速達性や定時性を高めるために、基幹急行バスの運行や国道58号への バスレーンの設置を進めています







■ 沖縄本島中南部都市圏と近い人口規模の都市では、階層的な公共交通体系が構築されています

■ 沖縄にかつて存在した軽便鉄道は戦争によって失われましたが、その後 ゆいレールが開通、現在は那覇と名護を結ぶ新たな鉄道が検討されています





軽便鉄道









ゆいレール



鉄軌道構想

**上八千/山人二 (1円7)に**出典:沖縄県「那覇〜名護間を1時間で結ぶ鉄軌道導入に向け、取組を進めています。」、https://oki-tetsukidou-pi.com/tetukidou/wp content/uploads/2025/02/r6panel.pd

## 移動と自動車利用の増加

- 沖縄本島中南部都市圏パーソントリップ調査によると、移動量は2006年 (H18)調査までは増加が続き、特に買物や娯楽を含む私事目的の伸びが顕著 でした
- しかし、2023年(R5)調査では初めて移動量が減少に転じています

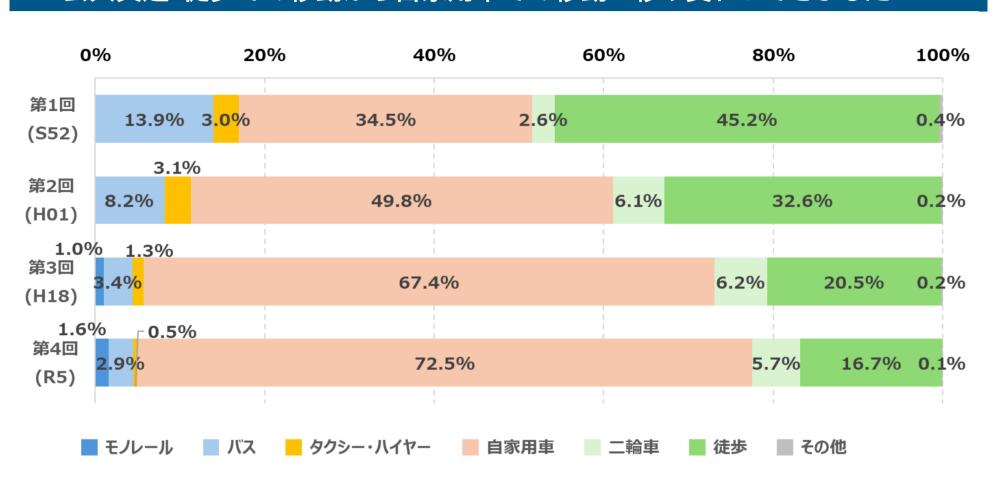


目的別トリップ数の変化

※トリップ:人がある目的をもって、ある地点からある地点へと移動する単位 1回の移動でいくつかの交通手段を乗り換えても1トリップと数える

資料:沖縄県「令和6年度第4回パーソントリップ調査分析業務報告書」 をもとに作成

#### ■ 公共交通・徒歩での移動から自家用車での移動へ移り変わってきました



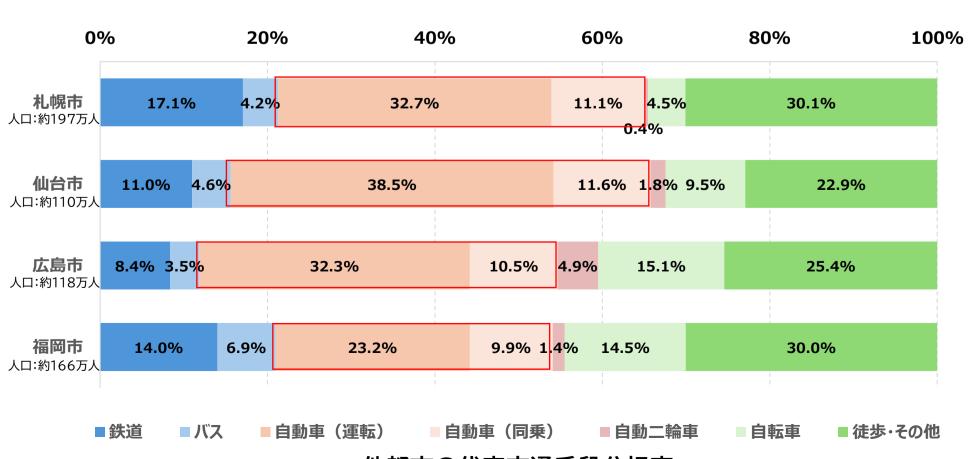
#### 代表交通手段分担率の変化

※代表交通手段:一つのトリップで利用した交通手段のうちの、最も主要な交通手段 主要な交通手段の優先順位は、鉄道、バス、自動車、二輪車、徒歩の順

> 資料:沖縄県「沖縄中南部都市圏PT調査 計画課題に関する現況分析」 をもとに作成

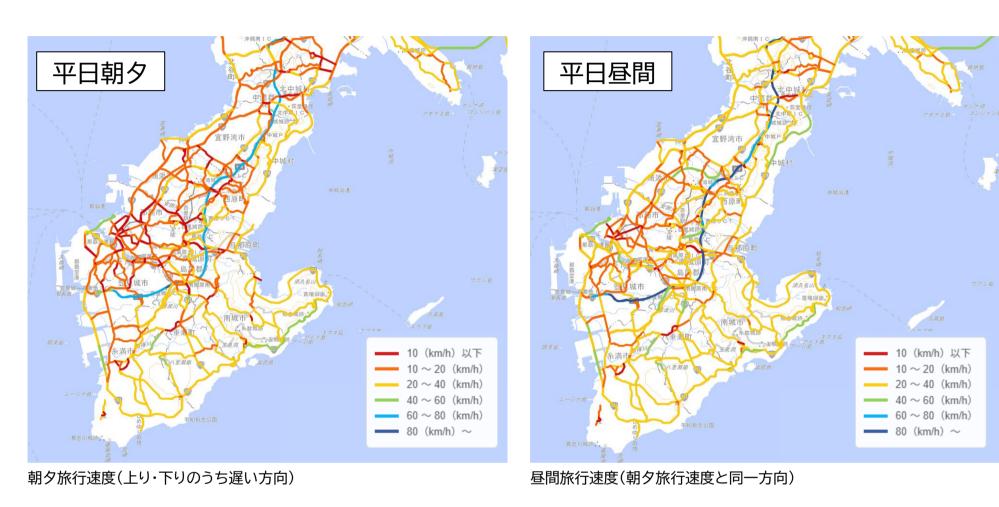
資料:国土交通省「令和3年度全国都市交通特性調査」をもとに作成

#### ■ 他都市では、沖縄本島中南部都市圏よりも自動車による移動は少なくなっています



## 道路交通の状況

#### 平日朝夕の車両の平均移動速度は、昼間と比べて遅い傾向にあります



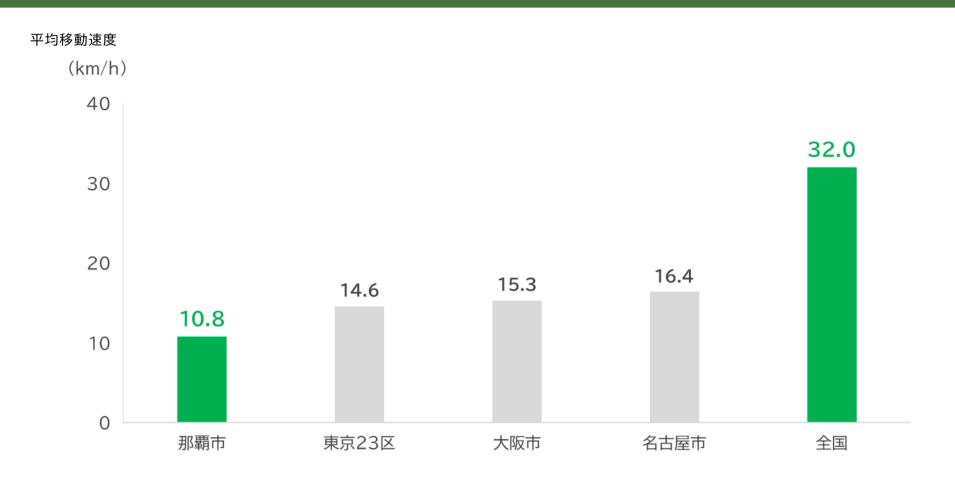
平日混雑時における、車両の平均移動速度(中南部)



平日混雑時における、車両の平均移動速度(北部)

資料:国土交通省「令和3年度 一般交通量調査結果WEBマップ(可視化ツール)」、https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-data/census.visualizationR3/index.html をもとに作成

#### ■ 平日混雑時の車両の平均移動速度は、全国と比べても遅い状況にあります



那覇市と他都市の、平日混雑時での車両の平均移動速度の比較

■ 道路混雑による損失時間は、沖縄県で年間約8,145万人時間にのぼります



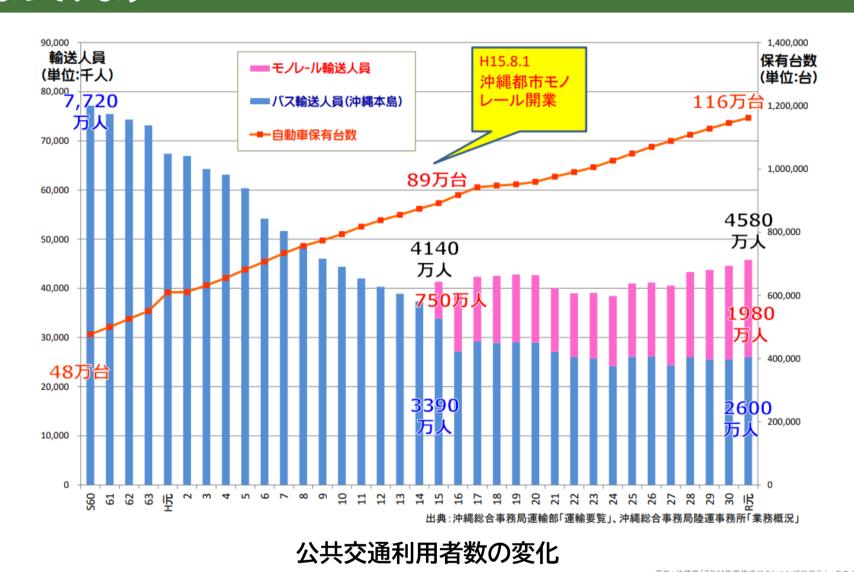
給与に換算すると 一人当たり 年間約9.8万円 県全体 年間1,455億円





国道58号の混雑の様子

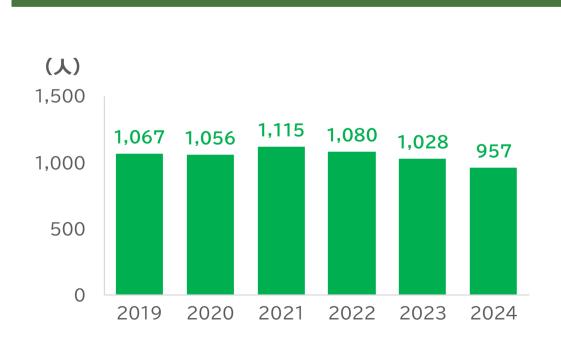
■ 本土復帰以降、公共交通の利用者数は減少し、現在は復帰直後の約6割にとど まっています



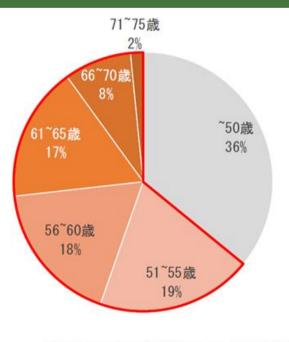
■ 公共交通の担い手であるバス運転手は、ここ数年で減少傾向にあります

出典:内閣府沖縄総合事務局「運輸要覧

また、運転手の年齢構成は51歳以上が過半数を占めています



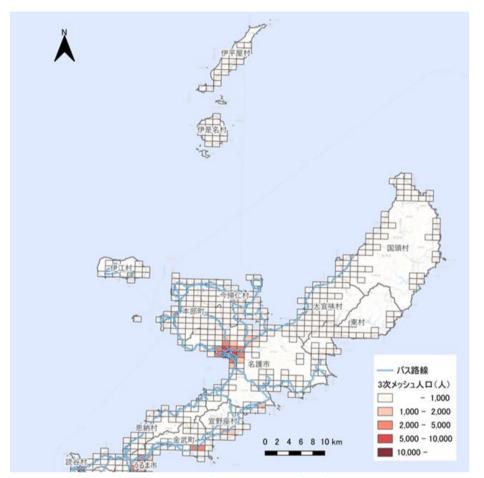
運転手数※



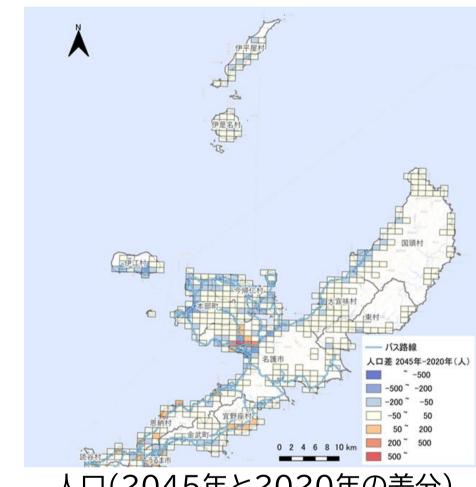
#### 本島4社運転手年齢構成※

#### ※2020年時点の琉球バス交通・沖縄バス・那覇バス・東陽バスの4社 資料:沖縄県「TDM施策推進アクションプログラム」をもとに作成

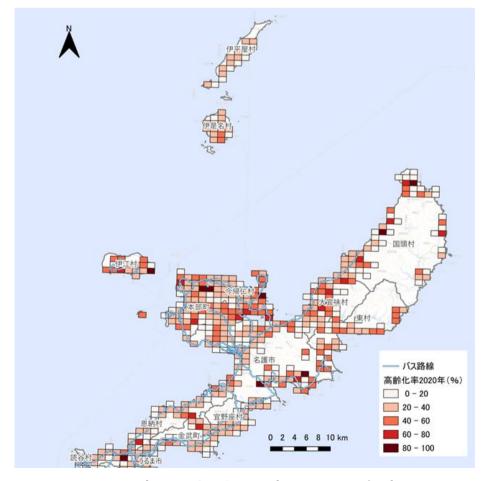
- バス路線は人口が多いところを中心に運行しています
- 現在路線バスが運行されている地域には、2045年までの間に人口減少・高齢 化が予想される地域が多く含まれています



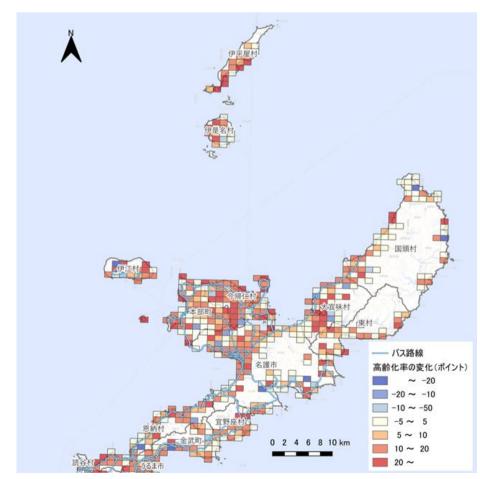
人口(2020年)



人口(2045年と2020年の差分)

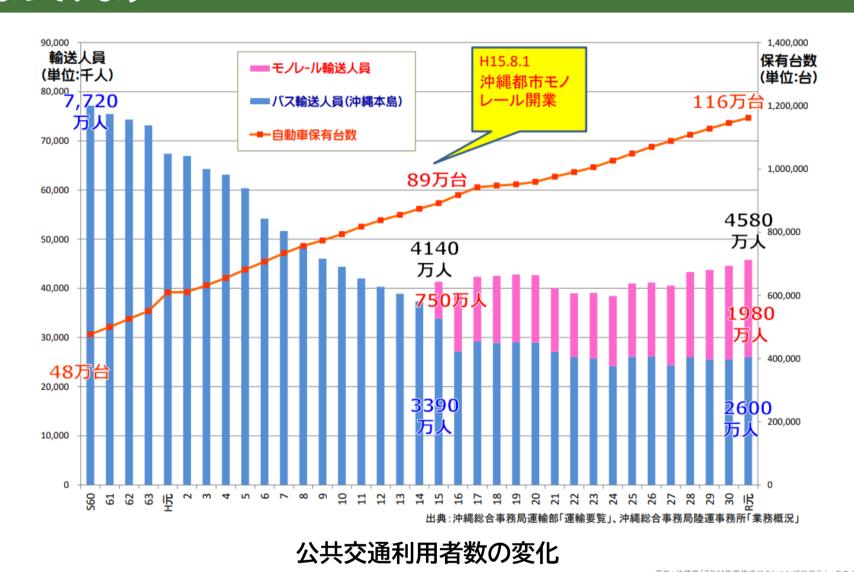


65歳以上人口(2020年)

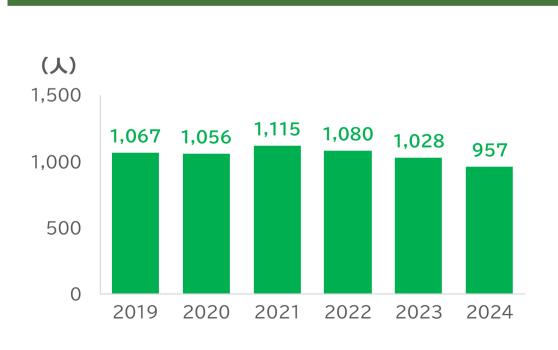


65歳以上人口(2045年と2020年の差分)

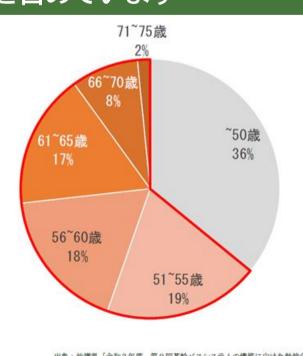
■ 本土復帰以降、公共交通の利用者数は減少し、現在は復帰直後の約6割にとど まっています



- 公共交通の担い手であるバス運転手は、ここ数年で減少傾向にあります
- また、運転手の年齢構成は51歳以上が過半数を占めています



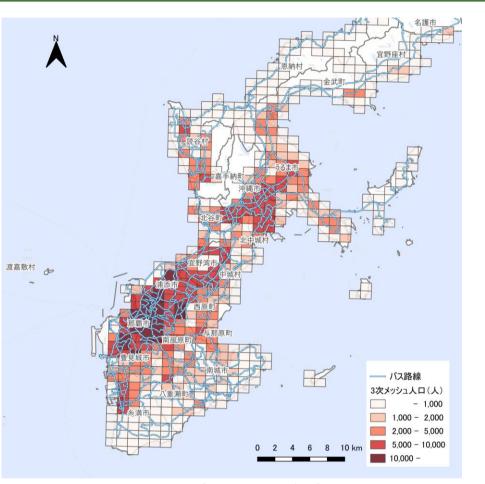
運転手数※

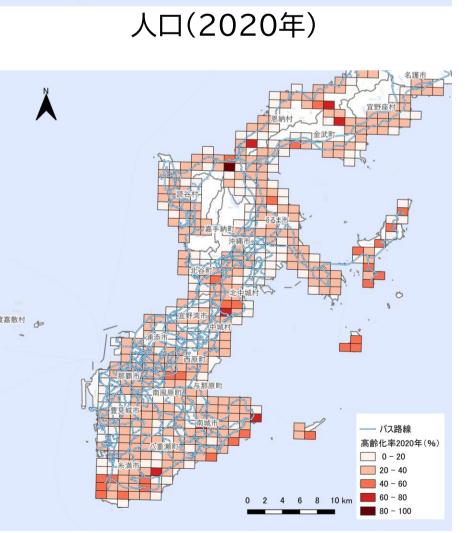


#### 本島4社運転手年齢構成※

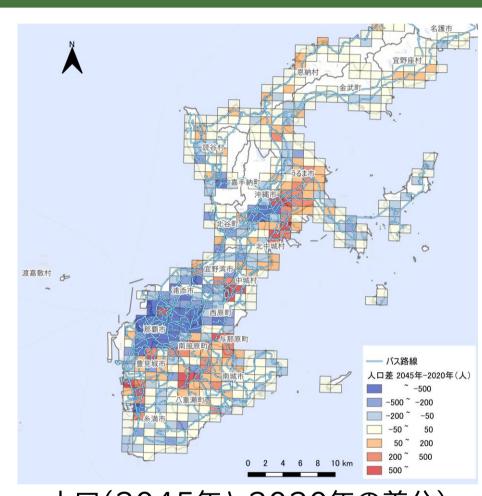
#### ※2020年時点の琉球バス交通・沖縄バス・那覇バス・東陽バスの4社

- バス路線は人口が多いところを中心に運行しています
- 現在路線バスが運行されている地域には、2045年にかけて人口減少・高齢化 が予想される地域が多く含まれています

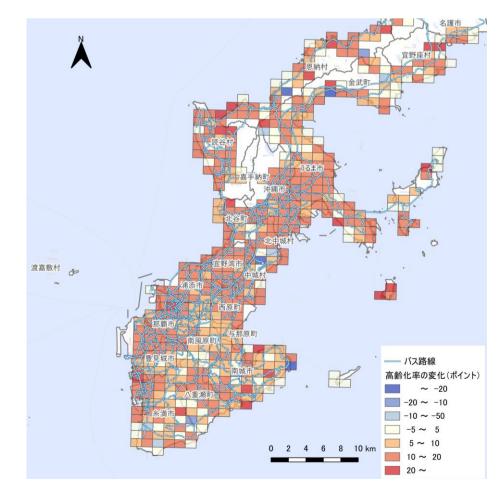




65歳以上人口(2020年)

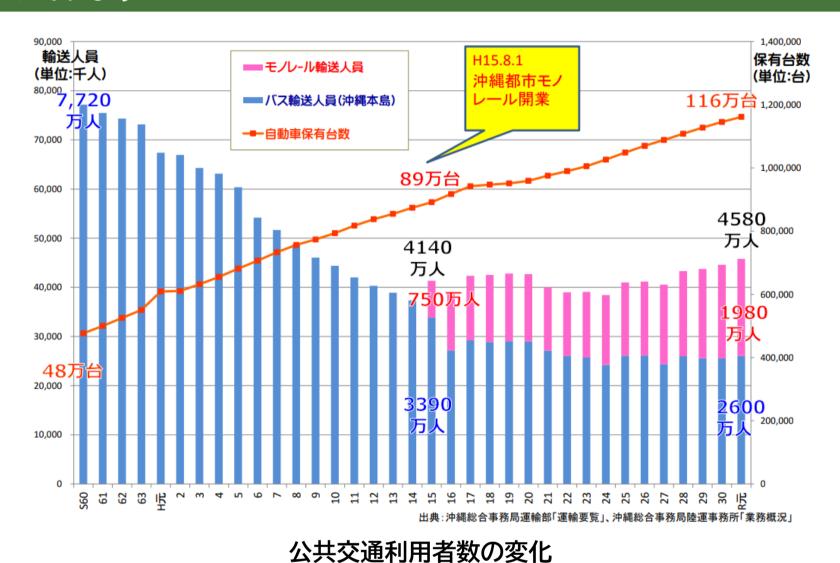


人口(2045年と2020年の差分)



65歳以上人口(2045年と2020年の差分)

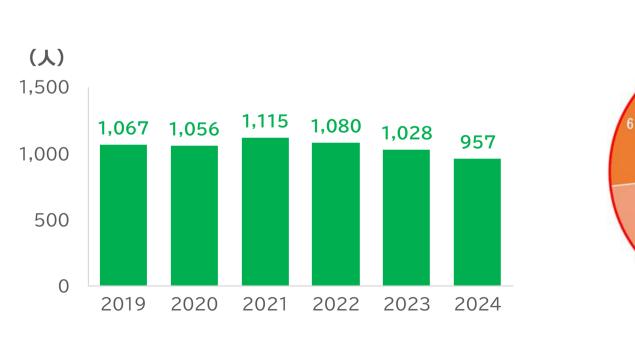
■ 本土復帰以降、公共交通の利用者数は減少し、現在は復帰直後の約6割にとど まっています



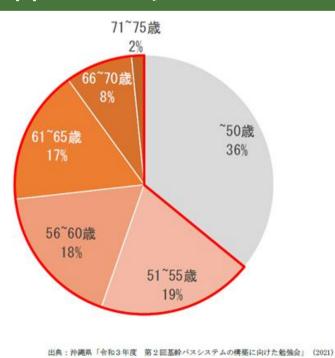
■ 公共交通の担い手であるバス運転手は、ここ数年で減少傾向にあります

出典:内閣府沖縄総合事務局「運輸要覧

また、運転手の年齢構成は51歳以上が過半数を占めています



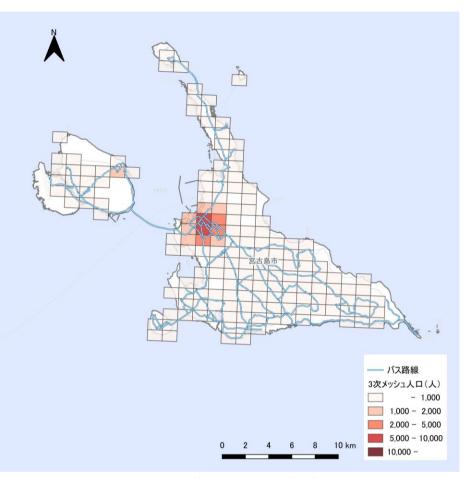
運転手数※



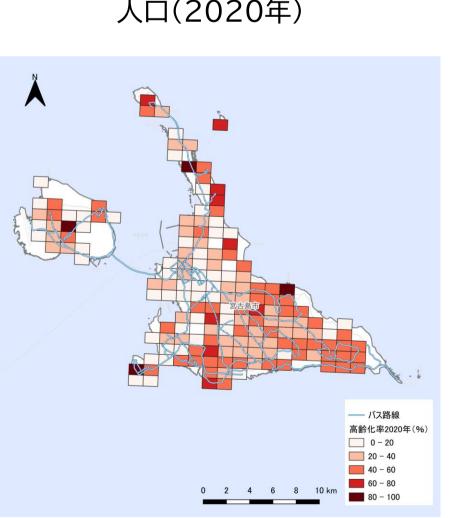
#### 本島4社運転手年齢構成※

#### ※2020年時点の琉球バス交通・沖縄バス・那覇バス・東陽バスの4社

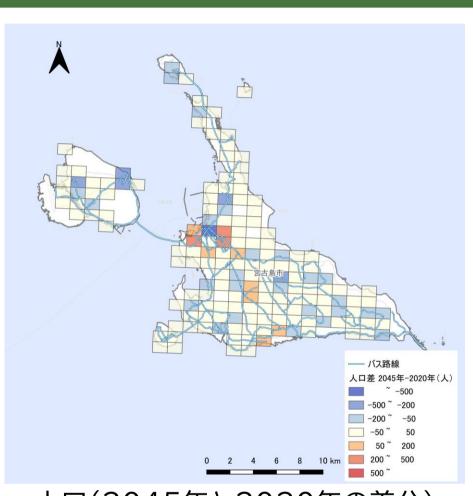
- バス路線は人口が多いところを中心に運行しています
- 現在路線バスが運行されている地域には、2045年にかけて人口減少・高齢化 が予想される地域が多く含まれています



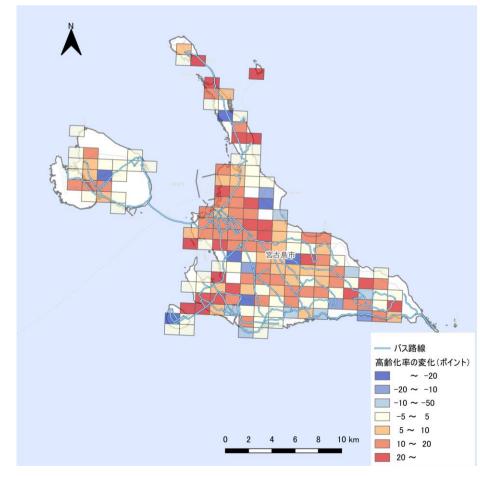
人口(2020年)



65歳以上人口(2020年)

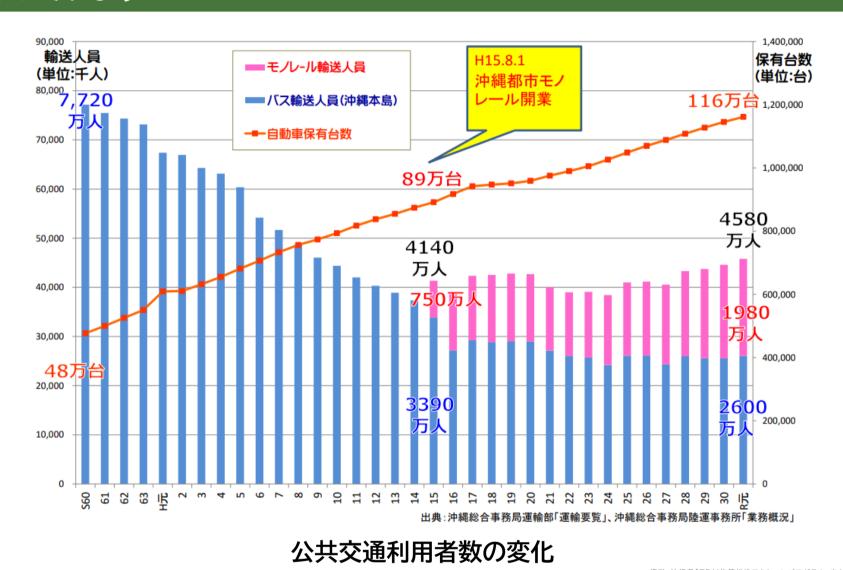


人口(2045年と2020年の差分)

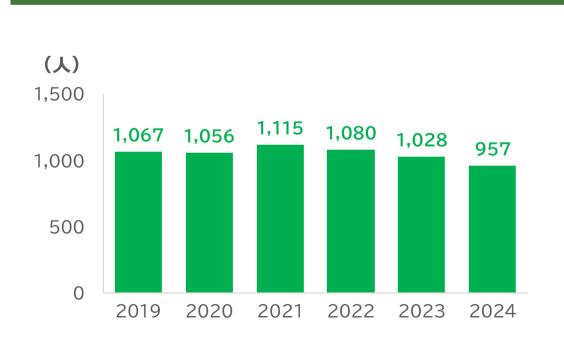


65歳以上人口(2045年と2020年の差分)

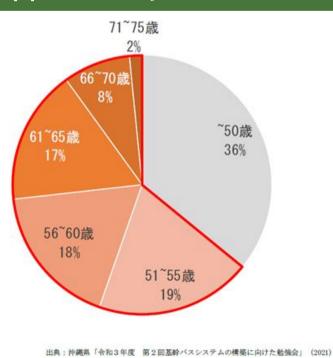
■ 本土復帰以降、公共交通の利用者数は減少し、現在は復帰直後の約6割にとど まっています



- 公共交通の担い手であるバス運転手は、ここ数年で減少傾向にあります
- また、運転手の年齢構成は51歳以上が過半数を占めています



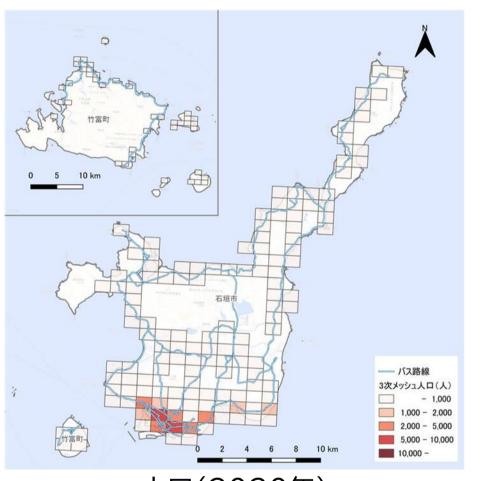
運転手数※



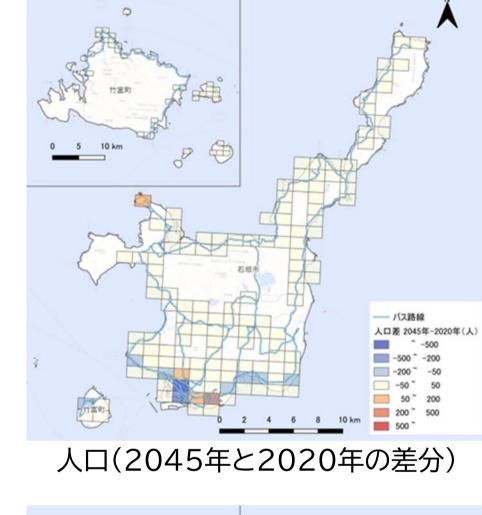
#### 本島4社運転手年齢構成※

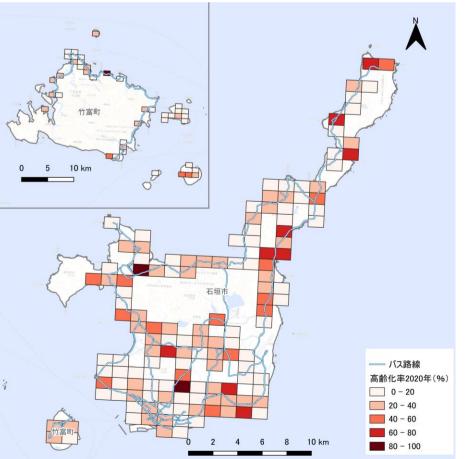
#### ※2020年時点の琉球バス交通・沖縄バス・那覇バス・東陽バスの4社

- バス路線は人口が多いところを中心に運行しています
- 現在路線バスが運行されている地域には、2045年にかけて人口減少・高齢化 が予想される地域が多く含まれています

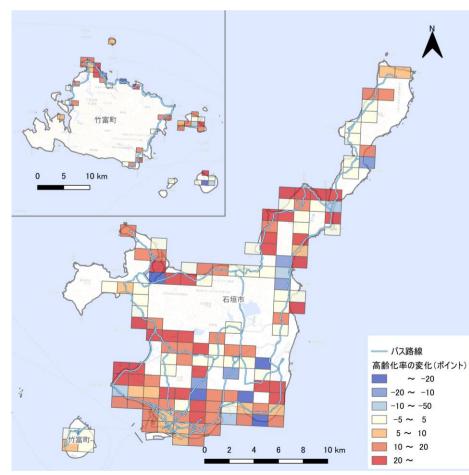


人口(2020年)





65歳以上人口(2020年)



65歳以上人口(2045年と2020年の差分)

## 生活と密接に関わる自動車利用

■ 学校への通学では、家族による送迎が少なく ありません



送迎のために学校付近へ自動車が集まる様子

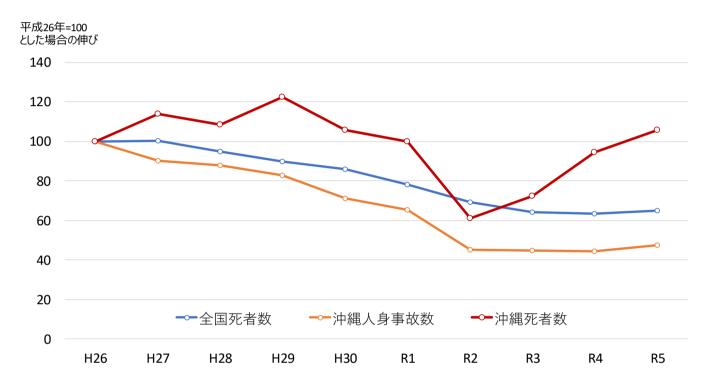
■ まちの空間が駐車場として多く利用されてい ます



那覇市おもろまち周辺

出典:沖縄県「沖縄県地域公共交通計画」

■ 全国の交通事故死者数は減少から横ばいなのに対し、 沖縄では近年増加に転じています



交通事故(人身事故)件数と死者数の推移

資料:沖縄県警「令和5年版交通白書」 をもとに作成

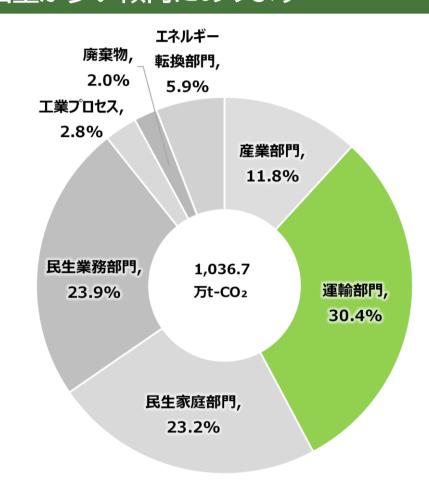
■ 沖縄の自動車維持費は全国的に見ても高い傾向です



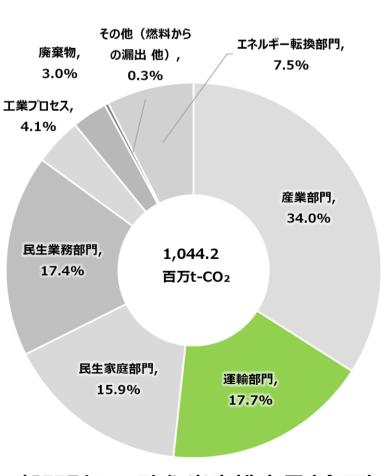
全国家計構造調査支出内訳

## 地球環境への影響

■ 全国と比較して沖縄は運輸部門の二酸化炭素 排出量が多い傾向にあります



#### 部門別の二酸化炭素排出量(沖縄県)



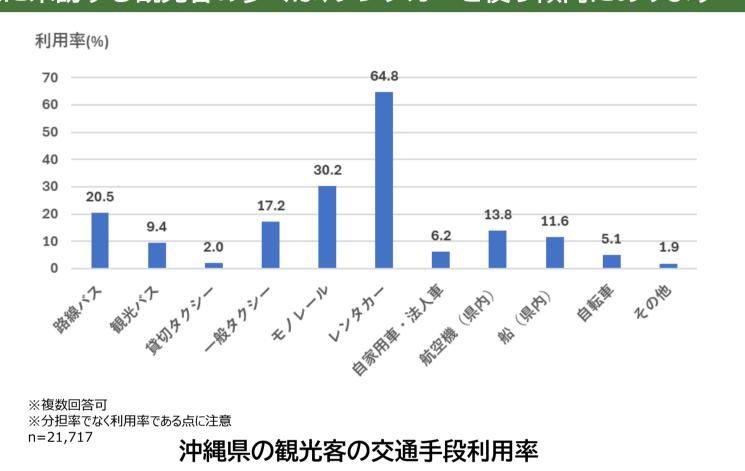
部門別の二酸化炭素排出量(全国)

# 12

出典:沖縄県「第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画」 をもとに作成

## 観光と自動車利用

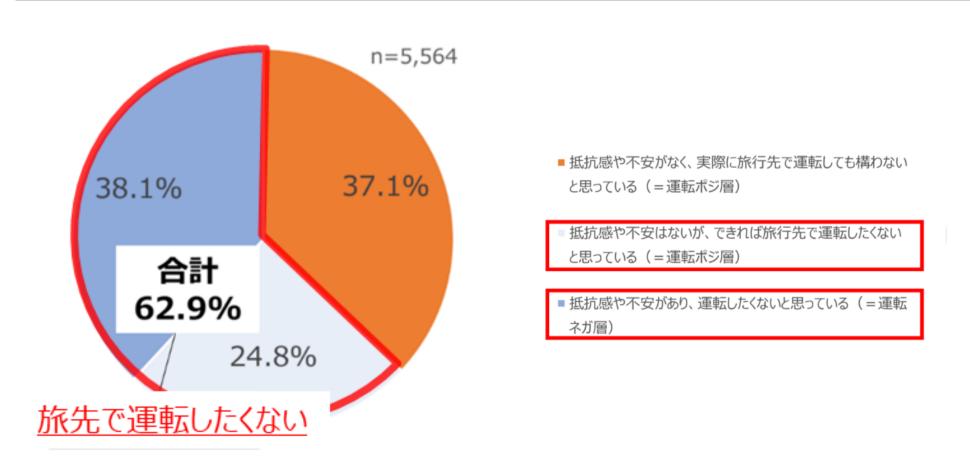
#### ■ 沖縄県に来訪する観光客の多くは、レンタカーを使う傾向にあります



出典:沖縄県「沖縄中南部都市圏PT調査 計画課題に関する現況分析

出典:沖縄県・一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー「沖縄旅行における移動手段に関する意識調査結果

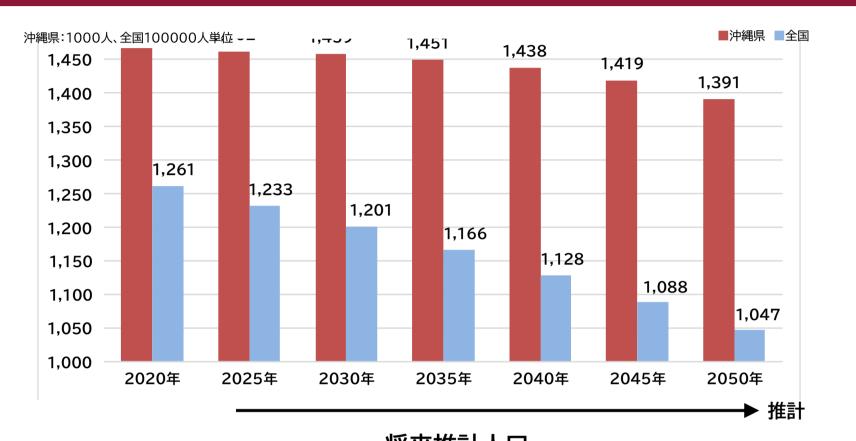
#### ■ 若年層では、旅行先での運転をしたくないと考える人も多いです



Z世代(18歳~25歳)の旅先でのレンタカー運転についてのアンケート結果

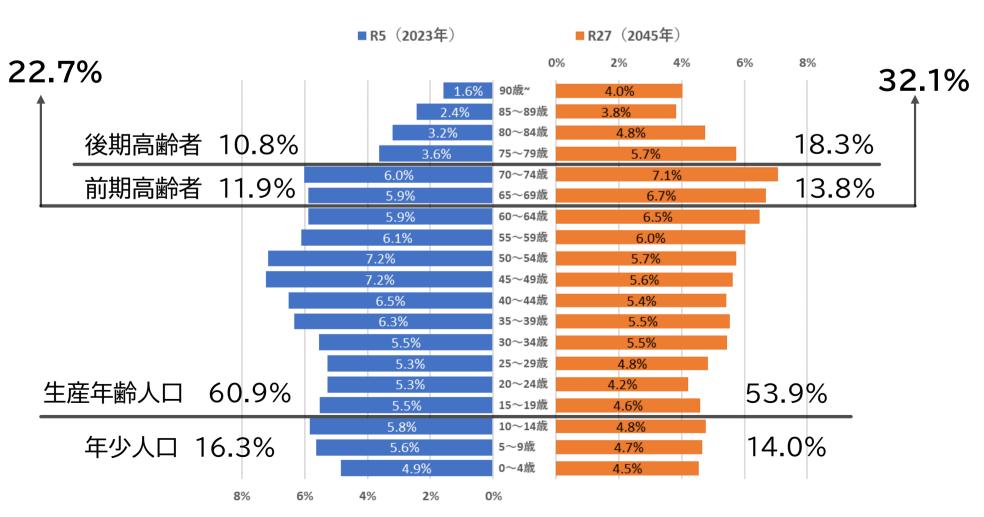
### 将来人口の見通し

#### ■ 沖縄県の人口は今後、減少する見込みです



将来推計人口

#### ■ 2045年には、高齢化率が10ポイントほど増加し、特に後期高齢者の割合が高まる見込みです



2023年(左)と2045年(右、推計)の年齢階層別人口

資料:国立社会保障・人口問題研究所「将来人口推計(令和5年)」をもとに作成



問1.

これまでの道路整備や公共交通(バス、 モノレールなど)の施策によって、 皆さんの生活は変わりましたか?

それはどのようなことですか?







問2.

日常生活に欠かせない「移動」について、 皆さんは日頃、どのような不便や不安を 感じていますか?

また、そのような不便や不安は、 どんなことが原因だと思いますか?







### 問3.

## 今のような交通の問題が今後も長く続くとしたら、

## 将来世代の生活や沖縄社会にどのような影響があると思いますか?

県内観光は 大丈夫? クルマで移動 できない人は どうなるの?

経済活動にも 影響があるかも?

高齢者の移動は どうなるのかな? 環境にもっと 負担がかかる のでは?





次世代 交通ビジョン おきなわ

### 問4.

# 今後、急激な人口減少やインバウンドの急増など、社会情勢の大きな変化が生じた場合、皆さんの「移動」や「生活」にどのような影響が及ぶと思いますか?

急激な 人口の減少や 高齢化 自動運転の普及

燃料価格や電気料金の高騰

公共施設の 維持管理コストの 負担急増

インバウンド 観光の急増 基地返還や都市開発 に伴う人口の急増と 地価の高騰





## 問5.



今後、社会がどう変化したとしても、 ご自分の将来や、これからの世代にとって、 大切にしたいこと、残したいこと、失っては ならないことは何ですか?

家族や友人と 過ごす時間

自然とのふれあい

学びの機会

健康、 長生き

所得!

安全と安心

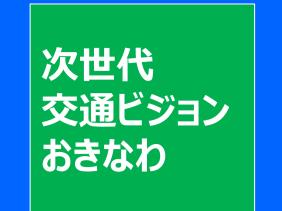
文化・余暇

皆さんのご意見やお考えをお聞かせください!





生きがい



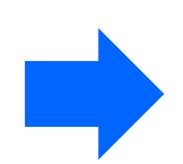
## 問6.

ビジョンの検討の「進め方」について、 心配な点はありますか?

みなさんが参加しやすくなるように、どのような工夫があるといいと思いますか?

(例えば、いつ・どこで・誰の意見を聞くとよいか、など)







意見投稿フォーム

#### 次世代 交通ビジョン おきなわ

## 次世代の交通のあり方を 考えるために・・・

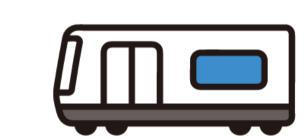
私たちの暮らしやまちの姿は、交通のあり方で変わります。 自動車が中心の社会、公共交通が中心の社会、徒歩や自転車が中心の社会…。 それぞれに色々なメリット、デメリットがあると思います。

みなさんは、将来の沖縄県の交通はどのような姿がよいと思いますか? それぞれのメリット、デメリットともに、どのような社会が良いのか考えてみましょう。

#### 自動車が便利な社会



#### 公共交通が便利な社会



#### 徒歩や自転車が便利な社会





メリット・デメリットを 書き込んでみよう メリット・デメリットを 書き込んでみよう メリット・デメリットを 書き込んでみよう